

「新中学校整備へ向けたサウンディング型市場調査」結果概要

1. サウンディング型市場調査の概要について

新中学校整備等を効率的かつ効果的に実施するために、民間活力導入可能性について調査し、最適な事業手法を検討しています。

企業等の皆様との対話を通じて、本事業への参加意欲を把握し、想定している事業内容や事業スキームに関するご意見をお聞きするため、サウンディング型市場調査を実施しました。

2. サウンディング型市場調査の実施スケジュール

サウンディングは、以下のスケジュールで実施しました。

日程	実施内容
令和元年 10月7日	実施内容の公表
令和元年 10月7日～10月18日	申込受付期間
令和元年 10月21日～10月25日	調査の実施

3. サウンディングの内容

サウンディングでは、主に次の項目につきまして、個別にご意見をお聞きしました。

新中学校整備事業の事業手法及び事業スキーム

- ア．最適と思われる事業手法とその理由
- イ．事業スキームに関するご意見
- ウ．業務範囲についてのご意見
- エ．付帯事業（施設）の可能性
- オ．想定されるリスクやそれに対する望ましい対応策
- 事業への関心や参画の可能性
- ア．事業への関心・参画の可能性
- イ．事業参画に際しての障壁や課題となる点
- 既存の3中学校の跡地活用の可能性
- ア．各跡地における事業の可能性の有無
- イ．望ましい事業手法とその理由
- ウ．望ましいと思う事業の対象範囲とその理由
- エ．事業への参画の可能性

4. サウンディング結果

サウンディングの結果は、以下の通りです。

参加事業者

業種	事業者数
建設（建設コンサルティング含む）	8社
不動産・リース	2社
設計	2社
サービス	2社
計	14社

サウンディングでの主なご意見

<p>新中学校整備事業の 事業手法及び事業スキーム</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務の効率化などが期待されることから、DB（O）、PFI 方式等の包括的な民間活力を活用した事業手法が望ましいとの意見が多く聞かれた。 ・ 事業期間は 15～20 年との意見が多く聞かれる中で、大規模修繕が生じない期間が望ましいとの意見も聞かれた。 ・ 事業類型として、学校本体の整備及び維持管理については、サービス購入型を望む声が多く聞かれた。付帯事業については、独立採算型を想定する意見も聞かれた。 ・ PFI 等の包括的な民間活力を活用した事業手法とする場合、設計・建設から維持管理に至る業務について対応可能との意見が多かった。 ・ まちづくりとの関連性や収益性を考慮すると、付帯事業の実施や施設の複合化といった民間事業者による提案事業が実施できる方が応募しやすいとの意見がある一方で、学校施設内での事業は制約が多いことなどから、付帯事業の実施について採算性の確保を含めて慎重な意見も聞かれた。
<p>事業への関心や参画の 可能性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各社とも本事業への関心は高かった。 ・ 給食事業は食数が少ないため、事業者の確保が難しく、グループ組成において障壁となる可能性があるとの意見が聞かれた。
<p>既存の 3 中学校の跡地 活用の可能性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 跡地利用については、(新中学校整備事業と)別事業とすべきであるとの意見が多かった。 ・ 新中学校整備事業を実施していく中で課題が出る可能性もあり、町としてのまちづくりの方針を見据えてから段階的に検討していくことが望ましいとの意見があった。 ・ 跡地の活用方法を含めた、長期的なまちづくりの検討について、協力していくことは可能であるとの意見が聞かれた。